作成日： 2020年04月10日
改訂日： 2022年05月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 ： サンジェット P-1000
管理番号3450A-3
製品種類 ： 研磨剤
主な用途
推奨用途 ： 金属面
供給者情報詳細
供給者 ： 三彩化工株式会社
住所 ： 大阪市北区大淀中3-5-30
担当部署 ： 技術開発部
電話番号 ：06-6451-7851
FAX：06-6451-1187

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
皮膚腐食性及び刺激性：区分 2
発がん性：区分 2
生殖毒性：区分 1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1
（注） 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素

注意喚起語：危険
危険有害性情報
皮膚刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
注意書き
安全対策
使用前に取扱い説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 :

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.
灯油	20 - 30	特定できない
キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)	< 1	1330-20-7
酸化アルミニウム	20 - 30	1344-28-1
エチレングリコ-ル	5 - 10	107-21-1

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
溶剤、シンナーを使用してはならない。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な流水で15分間以上洗眼する。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗う。

飲み込んだ場合

嘔吐物を飲み込ませてはならない。
医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、噴流水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂 を使用すること。

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

消火水の下水への流入を防ぐ。

指定の消火剤を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の河川、下水、排水溝、低地への流出を防止し、環境への影響を起こさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

スコップ、ウエス等で容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。また、容器はその都度密栓する。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))

作業環境評価基準(2004) <= 50ppm

許容濃度

(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m3

(エチレングリコール)

ACGIH(2016) TWA: 25ppm(V);

STEL: 50ppm (V), 10mg/m3(I,H) (上気道刺激)

(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))

ACGIH(1992) TWA: 100ppm

STEL: 150ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系損傷)

(酸化アルミニウム)

ACGIH(2007) TWA: (非溶性化合物) 1mg-Al/m3(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

(灯油)

ACGIH(2003) TWA: 200mg/m3(P) (皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系損傷)

注釈(症状、摂取経路など)

(灯油)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

屋内作業の場合は、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるようにする。タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気できる装置を取り付ける。

保護具

呼吸用保護具

作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。)

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保護具は定期的に点検する。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : ペースト状

色 : 乳白色

臭い : 石油系溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点 :100～310℃[参考値]

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 :62℃

自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 適用外(50%水分散液で9.2[代表値])
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧 : 2338 Pa (20℃)[参考値]
密度及び/又は相対密度 : 1.1 (20℃) [代表値]
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
常温、常圧で安定。
高温での保存や凍結により分離する。
危険有害反応可能性
標準的条件では危険な反応はしない。
避けるべき条件
可燃性溶剤を含むため、火気には十分注意すること。
混触危険物質
酸、強酸
酸等との接触により発熱する。
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
rat LD50=6140mg/kg (PATTY 6th, 2012)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)
急性毒性(経皮)
[日本公表根拠データ]
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)
急性毒性(吸入)
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
mist: rat LC50=2.7mg/L/4hr (PATTY 6th, 2012)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)
労働基準法:疾病化学物質
キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)

局所効果
皮膚腐食性・刺激性
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
ヒト 刺激性 (SIDS, 2009)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)
(灯油)
ヒト 刺激性 (ACGIH 7th, 2001 et al)
眼に対する重篤な損傷・刺激性
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
ラビット 軽微な結膜刺激 (CICAD 45, 2002)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[日本公表根拠データ]
(灯油)
cat.2; ACGIH A3 (ACGIH, 2001 (kerosene/Jet fuels))
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(酸化アルミニウム)
ACGIH-A4(2007) : ヒト発がん性因子として分類できない
(エチレングリコール)
ACGIH-A4(2016) : ヒト発がん性因子として分類できない
(灯油)
ACGIH-A3(2003) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
cat. 1B; ATSDR, 2007
催奇形性データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
中枢神経系、血液系、腎臓 (NITE初期リスク評価書, 2007; SIDS, 2009)
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(灯油)
気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
(酸化アルミニウム)
気道刺激性 (ICSC, 2000)
(エチレングリコール)
気道刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2007; ACGIH 7th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(灯油)
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)
(エチレングリコール)
麻酔作用 (NITE初期リスク評価書, 2007; ACGIH 7th, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(酸化アルミニウム)
肺;吸入 (EHC, 1997)
誤えん有害性
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(灯油)
cat. 1; ACGIH 7th, 2001
(キシレン(灯油含有物))
cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm2/s (25℃) (HSDB, 2014)
その他情報
この製品自体のデータは得られていない。

---

12. 環境影響情報
生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
魚類 (ヒメダカ) LC50 ＞ 100mg/L/96hr (環境省, 2001)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)
水生毒性(長期間) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコール)
甲殻類 (ニセネコゼミジンコ) MATC＝4.2mg/L/7days (環境省リスク評価第3巻, 2004)
水溶解度
(エチレングリコール)
100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2005)
(酸化アルミニウム)
溶けない (ICSC, 2000)
(灯油)
溶けない (ICSC, 1998)
残留性・分解性
(エチレングリコール)
急速分解性あり (BOD分解度=90%/14days, 既存点検, 1988)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
急速分解性なし (BODによる分解度:39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))
生体蓄積性
(エチレングリコール)
log Pow=-1.93 (ICSC, 1999)
(キシレン(異性体混合物)(灯油含有物))
log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

その他情報

この製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や関係する法規に従って処理を行うか、委託する。

容器、機器、装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さない。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

エチレングリコ-ル; キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

粉じん障害防止規則(令19号)

酸化アルミニウム

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エチレングリコ-ル; キシレン(異性体混合物)(灯油含有物); 酸化アルミニウム; 灯油

名称通知危険/有害物

エチレングリコ-ル; キシレン(異性体混合物)(灯油含有物); 酸化アルミニウム; 灯油

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

可燃性固体類(届出数量 3,000kg)

化審法

優先評価化学物質

エチレングリコ-ル; キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)

じん肺法

酸化アルミニウム

悪臭防止法

キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)

大気汚染防止法
有害大気汚染物質
キシレン(異性体混合物)(灯油含有物)
環境有害性
水質汚濁防止法
指定物質
キシレン(異性体混合物)(灯油含有物); 酸化アルミニウム

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019
Supplier's data/information
製品評価技術基盤機構:GHS分類データベース
「溶剤ポケットブック」有機合成化学協会編
日本塗料工業会「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック」
化学工業日報社「ラベル・製品安全データシート作成実務必携 GHS対応国内版」
安全衛生情報センター

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。